

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 8月20日更新

事務事業名		戦傷病者等援護事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康		所属部	健康福祉部	課長名	小畑 英之
	施策	6	社会福祉の推進		所属課	福祉課	担当者名	古澤 沙也加
	施策の柱	23	地域福祉の推進		所属班	社会福祉班	(内線)	1153
予算科目	会計一般	款 3	項 1	目 1	事業連番 10428	根拠法令	戦傷病者戦没者遺族等援護法	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 5年度で終了 <input type="checkbox"/> 5年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	旧軍人・軍属及び戦没者遺族等援護事業に係る国・県の窓口業務を行う。昭和38年戦傷病者戦没者遺族等援護法施行後から対象者の高齢化と、遺族会の対象者の裾野の広がりをみせている。現在、取扱う主な手続きは、戦没者等の遺族に対する特別弔慰金、戦没者等の妻に対する特別給付金、戦傷病者等の妻に対する特別給付金など。平成22年度より遺族会運営支援事業、戦没者合同慰霊祭関係事業、傷痍軍人会運営支援事業を統合し、現在に至る。 慰霊祭については、旧合志町、旧西合志町で開催時期・開催方法等が異なっていたが、合併を契機に市遺族会として開催することとなった。平成20年度から追悼式と名称を変更し、平成21年度以降は参加者の高齢化等に鑑み御代志市民センターで固定して開催していたが、平成28年度は、御代志市民センターが熊本地震により被災したため、会場を菊南斎場に変更実施した。平成29年度・30年度も、遺族会の要望もあり引き続き会場を菊南斎場で実施しているが、令和元年度は、菊南斎場が熊本地震による建物改修工事のため御代志市民センターで開催した。令和2年度から令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催中止し、今年度は開催した。
【業務の流れ】	戦没者遺族等援護に係る国・県の窓口業務を行う。(特別弔慰金・特別給付金の請求書受付事務及び国債交付事務。戦傷病者乗車券引換証発行等。) 遺族会への補助金の交付。合志市戦没者追悼式を開催する。
【主な予算費目】	報酬、役務費、委託料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	戦傷病者本人や戦没者遺族の高齢化が進み、反戦の流れを後世に伝えていくにはどうしたらよいかを考えなければならない時期にきているとの声がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	合志市健康福祉補助金等交付要綱に基づき、戦没者遺族会の活動補助(遺族会会員の相互の親睦と融和を図り、恒久平和の尊さを後世に残すための経費)として、合志市遺族会へ補助金を交付した。(遺族会会員数280名)8月に合志市戦没者追悼式を菊南斎場で開催した。(遺族会出席者 58名)各種特別給付金の窓口業務を行った。(給付件数 2件)	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)回 ア: 合志市戦没者追悼式開催回数 イ: 各種特別給付金及び特別弔慰金(直近)等取扱給付件数	予算の主な増減の理由 市戦没者追悼式に係る時間外勤務手当の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	戦没者等の遺族、戦傷病者の妻、遺族会会員	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)人 ア: 合志市戦没者追悼式対象人数 イ: 特別弔慰金対象者数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	戦没者等の遺族及び弔慰を表す戦傷病者の妻に対して精神的苦痛に慰藉を行う。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)件 ア: 合志市戦没者追悼式参加者数 イ: 特別弔慰金(直近)申請者数
*③成果指標設定の理由と6年度目標値設定の根拠 申請者数については対象者の減に伴い減少して行くことが見込まれる。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア 回		0	0	1	1	1	1	1	1	
	イ 人		52	55	3	2	3	3	3	3	
② 対象指標	ア 人		322	299	290	280	280	270	260	250	
	イ 人		418	418	0	0	0	418	418	418	
③ 成果指標	ア 件		0	0	60	58	60	60	60	60	
	イ 件		52	54	3	0	3	3	3	3	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	15	15	15		15	15		
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	226	300	726	720	766	733	733	748
		(A) 事業費計	千円	241	315	741	720	766	748	748	748
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	7	7	7	7	7	7
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	3	2	4	2	3	3	2
延べ業務時間	時間	405	405	200	260	200	500	300	200		
(B) 人件費計	千円	1,583	1,541	796	946	796	1,992	1,195	796		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,824	1,856	1,537	1,666	1,562	2,740	1,943	1,544		

